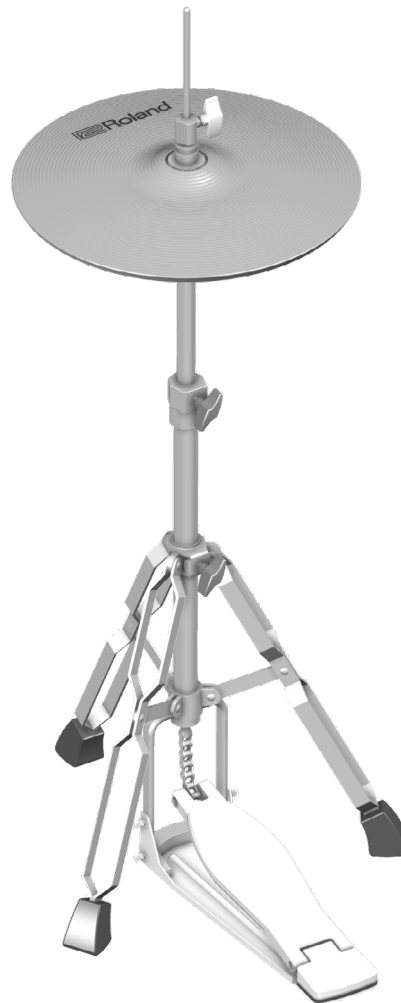


Digital V-Hi-Hat

# VH-14D

取扱説明書



**V·Drums**

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(P.2)をよくご覧ください。

お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2021 Roland Corporation

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

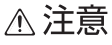
Português

Nederlands

# 安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

## △警告と△注意の意味について

|                                                                                             |                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>警告</b> | 取り扱いを誤った場合に、使用者が死または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。                                                            |
|  <b>注意</b> | 取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。<br>※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。 |

## 図記号の例

|                                                                                   |                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
|  | △は、注意（危険、警告を含む）を表示しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。     |
|  | ○は、禁止（してはいけないこと）を表示しています。具体的な禁止内容は、○の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。            |
|  | ●は、強制（必ずすること）を表示しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表示しています。 |

..... 以下の指示を必ず守ってください .....

## 警告

### 分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



### 個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店または当社サポート窓口にご相談してください。



### 次のような場所で使用や保管はしない

- ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ・ 湯気や油煙が当たる場所
- ・ 塩害の恐れがある場所
- ・ 雨に濡れる場所
- ・ ほこりや砂ぼこりの多い場所
- ・ 振動や揺れの多い場所
- ・ 風通しの悪い場所



## 警告

### 指定のスタンドを使用する

本機の設置には、「取り付け可能なスタンド」（P.8）に記載の仕様を満たしたハイハット・スタンドを使用してください。



### 不安定な場所に設置しない

本機を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



### スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください（P.4～P.7）。正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



### 異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花瓶など）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



## 警告

### 異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って、お買い上げ店または当社サポート窓口にて修理を依頼してください。



- ・ 煙が出たり、異臭がしたりするとき
- ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
- ・ 機器に異常や故障が生じたとき

### お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様が使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



### 落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



## 注意

### 指定のスタンドのみ使用する

「取り付け可能なスタンド」（P.8）に記載の仕様を満たしたハイハット・スタンドのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



## 注意

### スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。



### 上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



### 移動するときはすべての接続をはずす

ケーブルを接続したまま移動すると、破損や故障の原因になります。



### 指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときには、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。



- ・ トップ・シンバルとボトム・シンバルの間

### 小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところに保管してください。



- ・ 取りはずしが可能な部品  
クランチ・スクリュー  
クランプのネジ  
クランプのプッシュ

# 使用上のご注意

## 設置について

- ・ 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- ・ 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- ・ 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

## お手入れについて

- ・ 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

## 修理について

- ・ お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または当社サポート窓口にご相談ください。

## その他の注意について

- ・ 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ・ ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。

- ・ 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。
- ・ 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- ・ 打面部のゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを塗布してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のスティック痕が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。
- ・ ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。

## 知的財産権について

- ・ Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標、または登録商標です。
- ・ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

# はじめに

## 同梱物の確認

パッケージを開けたら、同梱物に不足がないか確認してください。不足しているものがあつたときは、購入した販売店へお問い合わせください。

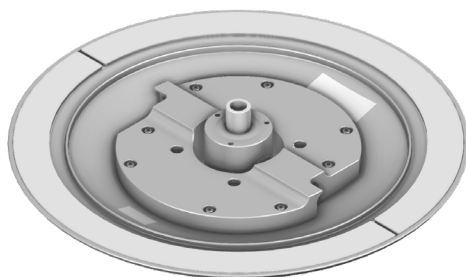
※ 開封時、製品の表面に濡れたような小さな斑点が見えることがあります。これは、性能維持のために打面部のゴム部品に塗布してある劣化防止剤の一部です。製品の性能や機能に影響はありませんので、安心してお使いください。斑点は、時間経過と共に自然と消えます。

※ 本製品がローランドのドラム・キットに付属されている場合、パッケージの同梱物が異なる場合があります。

## トップ・シンバル



## ボトム・シンバル



## 接続ケーブル



## スペーサー (S、M、L)



## クランプ



## ケーブル・タイ

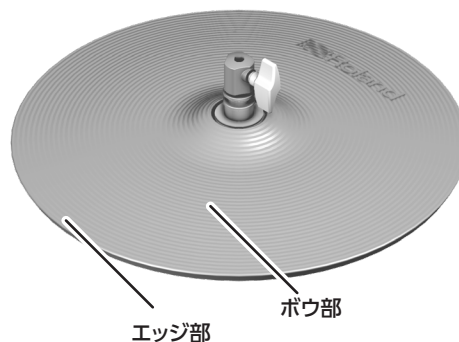


## ドラム・キー

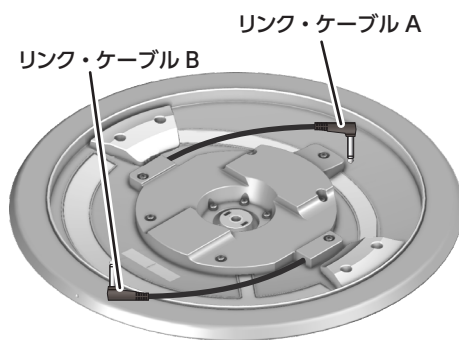


## 各部の名称

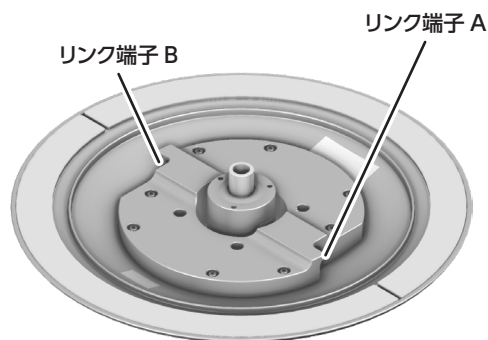
### トップ外側



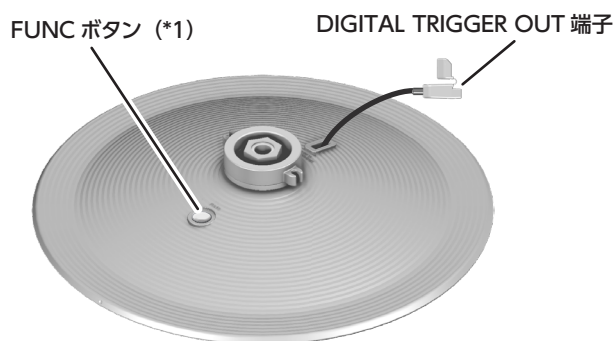
### トップ内側



### ボトム内側



### ボトム外側



(\*1) VH-14D のバージョン・アップなどに使います。  
※ 通常は使いません。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

# ハイハット・スタンドへの取り付け

## (1) ボトム・シンバルの組み立て

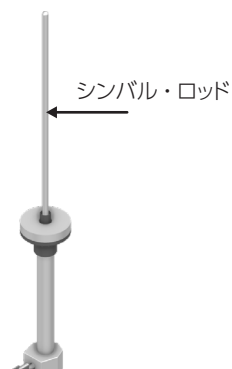
### 1. ハイハット・スタンドに付属しているクラッチをシンバル・ロッドから取りはずします。

※ ハイハット・スタンドに付属のクラッチは使いません。

※ ハイハット・スタンドの、ボトム・シンバルを載せるシンバル受け部分のフェルト部品（あるいはゴム部品）を取りはずす必要はありません。

### 2. シンバル・ロッドがしっかり締めつけられていることを確認します。

※ シンバル・ロッドの締めつけかたについては、お使いのハイハット・スタンドの取扱説明書をご覧ください。

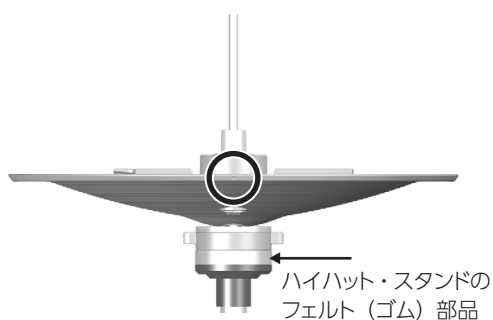


※ シンバル・ロッドがゆるむと、トップ・シンバルが振動したり回転したりして安定せず、誤動作の原因になります。

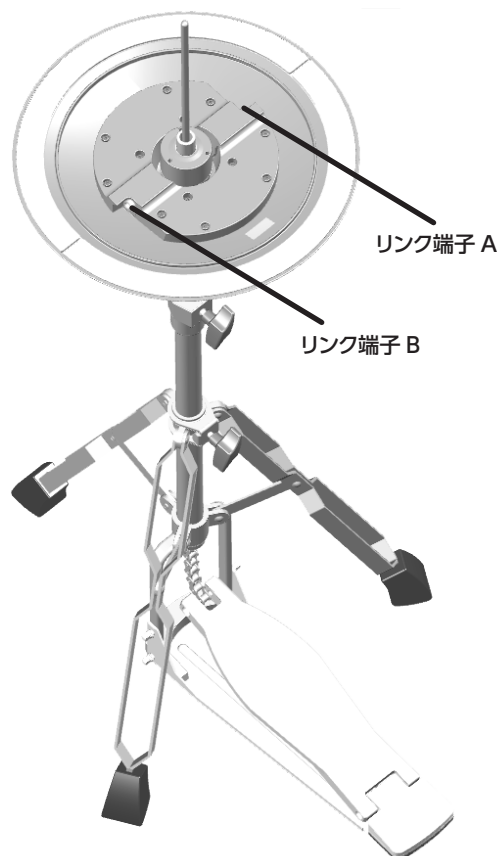
### 3. ボトム・シンバルをシンバル・ロッドに通してハイハット・スタンドのシンバル受け部分のフェルト部品（あるいはゴム部品）の上に載せます。

シンバル受け部分の傾きを調節できるものは、水平に調節してください。傾けると誤動作の原因になります。

このとき、●マークを演奏者から見て手前側にします。



このとき、リンク端子 A/B は奏者から見て右／左側になります。



### 4. ハイハット・スタンド上段のパイプの直径に合うスペーサーを選びます。

パイプの径に合わせて、3 種類のスペーサーが付属しています。

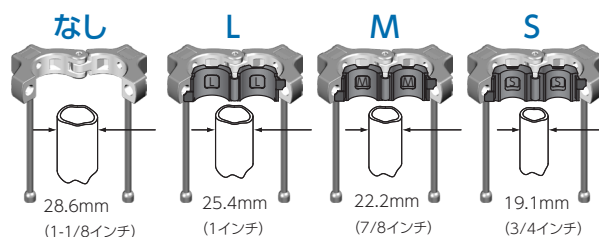
L: 25.4mm (1 インチ)

M: 22.2mm (7/8 インチ)

S: 19.1mm (3/4 インチ)

スペーサーなし: 28.6mm (1-1/8 インチ)

### 5. クランプのネジをはずし、スペーサーをクランプで覆うように組み合せます。



## スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください (P.4 ~ P.7)。

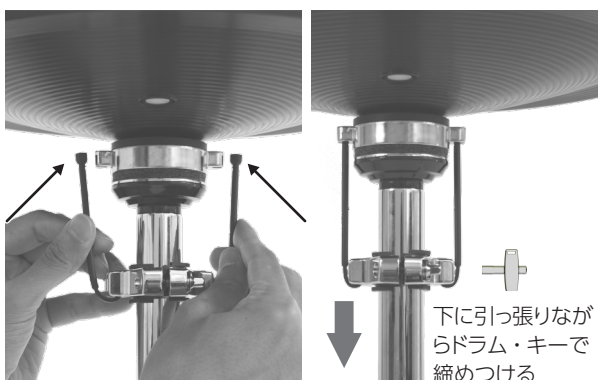
正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

## クランプの取り付けかた (1)

6. クランプとスペーサーを、ハイハット・スタンド上段のパイプに取り付け、ドラム・キーで軽く締めます。



7. クランプの端をボトム・シンバル金属部分の溝に通し、クランプを十分な力で下に引っ張りながら、ドラム・キーで固定します。

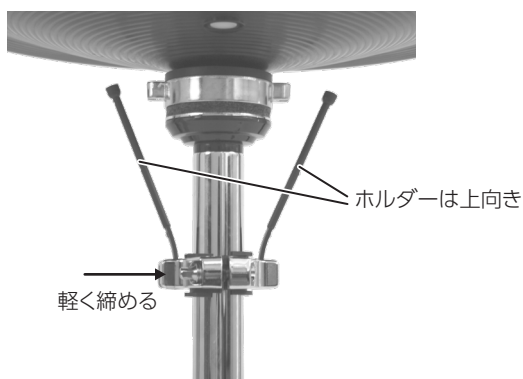


※ 引っ張りが不十分だと、ボトム・シンバルが振動したり回転したりして安定せず、誤動作の原因になります。

※ 長期間使用していると、ハイハット・スタンドのシンバル受け部分のフェルト部品（あるいはゴム部品）が縮んで、ボトム・シンバルが不安定になることがあります。その場合は、いったんクランプのボルトをゆるめて手順 7 をやり直してください。

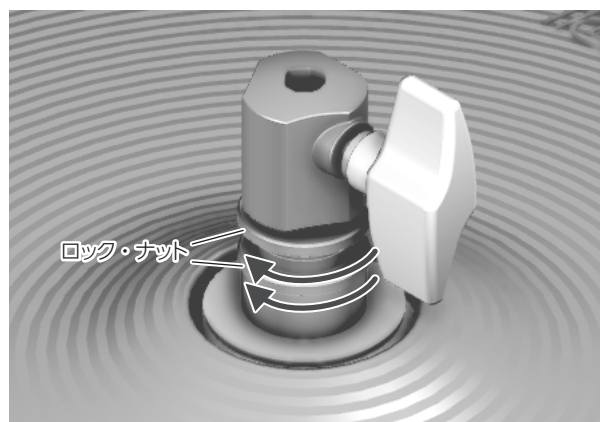
## クランプの取り付けかた (2)

クランプのホルダーがハイハットの溝に届かない場合は、図のようにホルダーを上向きに取り付けて使用してください。



## (2) 全体の組み立て

1. トップ・シンバルの 2 枚のロック・ナットをしっかりと締めつけます。



※ 締めつけがゆるいと、誤動作の原因になります。

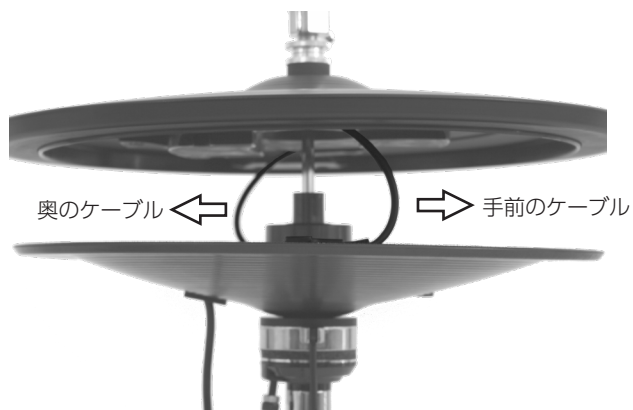
2. トップ・シンバルを、シンバル・ロッドを通してボトム・シンバルの上に載せます。

このとき、「Roland」の文字を演奏者から見て奥側にします。

3. ボトム・シンバルのリンク端子 A/B にトップ・シンバルのリンク・ケーブル A/B を接続します。

4. 図のように、ケーブルのたわみを指などで軽く引き寄せます。

横から見た図



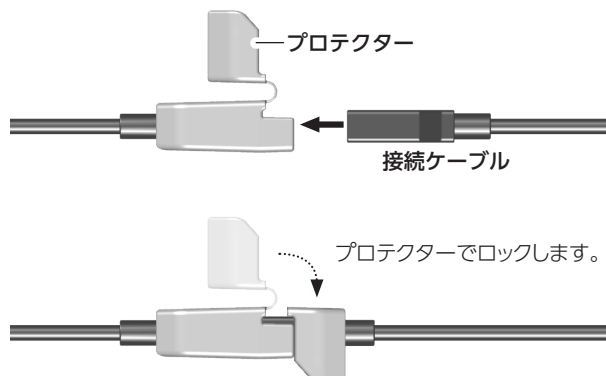
※ 組み立てるときに、リンク・ケーブルを強く引っ張らないようにしてください。

※ 上下のハイハットがスムーズに開閉できることを確認してください。

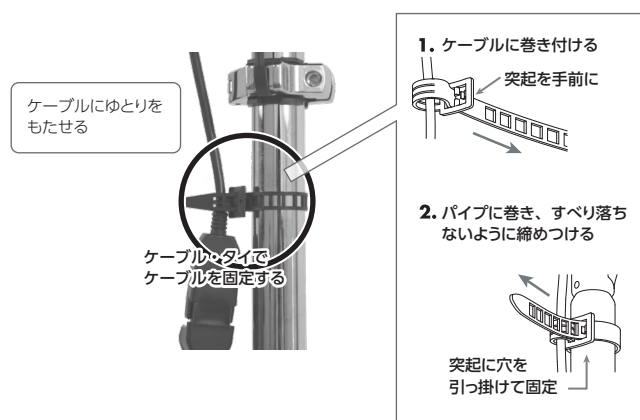
### (3) 音源モジュールとの接続

※ VH-14D に対応した、ローランド製のドラム音源をお使いください。

1. VH-14D の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、接続ケーブルを挿し込みます。



2. ケーブルにゆとりをもたせた状態にして、ケーブル・タイで固定します。



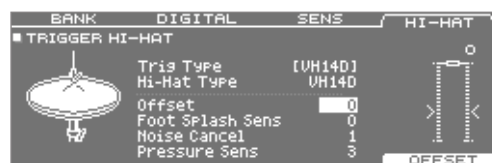
3. ドラム音源の DIGITAL TRIGGER IN 端子に、接続ケーブルのプラグを差し込みます。

### (4) 音源モジュールの調整

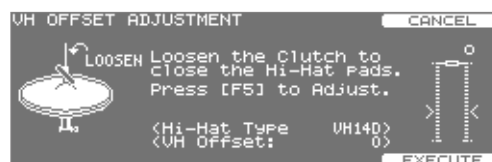
VH-14D を使用する際には、音源モジュールでの設定が必要です。

#### TD-50X に接続して使用する場合

1. TD-50X の [TRIGGER] ボタンを押します。
2. PAGE [UP] ボタンを数回押して、最上部のページを表示します。
3. [F4] (HI-HAT) ボタンを押します。  
TRIGGER HI-HAT 画面が表示されます。

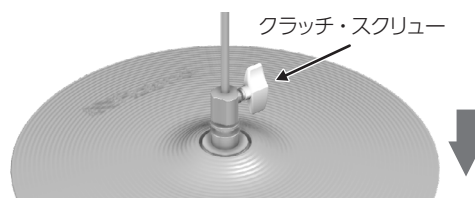


4. [F5] (OFFSET) ボタンを押します。  
VH OFFSET ADJUSTMENT 画面が表示されます。

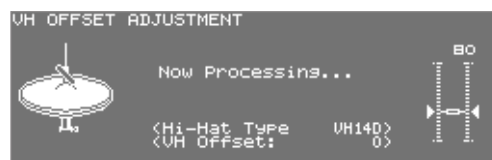


5. VH-14D のクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットを閉じた状態にします。

※ ハイハット本体やペダルには触らないでください。



6. [F5] (EXECUTE) ボタンを押します。



約 3 秒でオフセットが自動的に調整されます。  
[TRIGGER] ボタンが点滅から点灯に変わります。

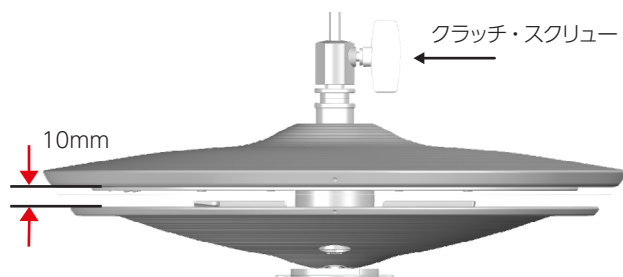
#### メモ

TD-50X の [KIT] ボタンを押しながら [TRIGGER] ボタンを押して、オフセットを調整することもできます。

VH-14D とドラム音源の初回接続時は、トリガー・パラメーターに推奨値が設定されます。VH-14D の取り付けかたやセッティングする位置など、使用される環境によってトリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。設定方法は、各音源の取扱説明書をご覧ください。

## (5) ハイハットの調整

1. トップ・シンバルとボトム・シンバルの間隔を 10mm 程度に調節し、クラッチ・スクリューを締めつけます。



※ 間隔は演奏しやすい距離に調節できますが、狭すぎたり広すぎたりすると誤動作を起こし、思いどおりに演奏できないことがあります。10mm が最も自然な感じで VH-14D を演奏できる間隔です。

2. ペダルのバネのテンションを、ハイハット・スタンドで調節します。

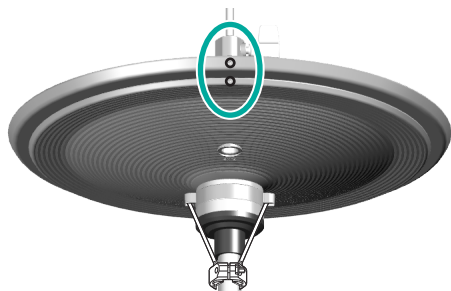
テンションの調節方法については、お使いのハイハット・スタンドの取扱説明書をご覧ください。

※ バネのテンションが強すぎたり弱すぎたりすると、誤動作を起こし、意図した演奏ができないことがあります。

※ スタンドによっては、調節できない場合もあります。

### 注意

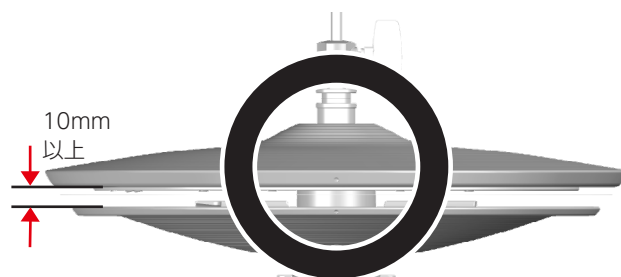
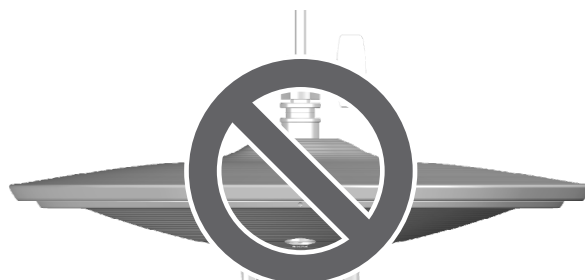
演奏中は常に、図のようにトップ・シンバルとボトム・シンバルのマーク (●) の位置を合わせておいてください。マークがずれると誤動作をすることがあります。



●マークを演奏者から見て手前側にします。

## 演奏しないときは

演奏しないときは、トップ・シンバルとボトム・シンバルを 10mm 以上離れた状態で固定してください。誤動作の原因になります。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

# 奏法について

ドラム音源によって、各奏法への対応が異なります。  
詳しくは、ドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

## 注意

- 木製や樹脂製のスティックをお使いください。  
カーボン製や金属製のスティックを使うと、センサーが誤動作することがあります。
- ナイロン製のブラシをお使いください。金属製のブラシを使うと、センサーが誤動作したりリパッドを傷つけたりすることがあります。

## オープン／クローズ

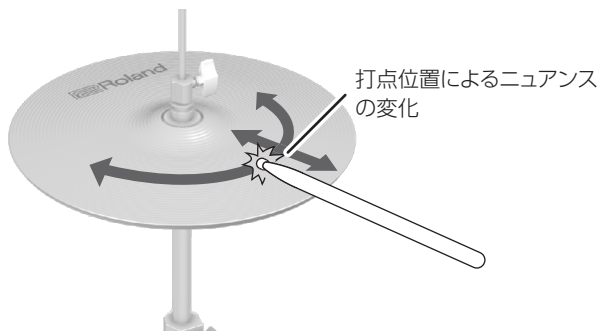
ハイハット・スタンドのペダルの踏み込み具合により、オープンからクローズまで音色が連続的に変化します。  
フット・クローズ（ペダルを踏み込んで鳴らす）やフット・スプラッシュ（ペダルを踏み込んで瞬時にオープンして鳴らす）も可能です。

## プレッシャー

クローズ状態からさらにペダルを踏み込んでハイハットを叩くと、踏み込む強さに応じて変化したクローズの音色を鳴らすことができます。

## ボウ・ショット

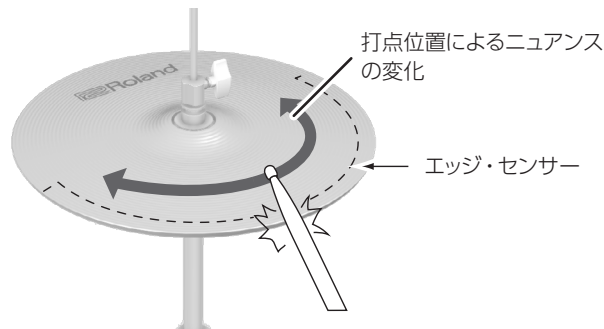
トップ・シンバルの打面を叩く奏法です。ヘッド側の音色が鳴ります。  
特定のハイハット音色では、ボウ部の打点に応じて音色のニュアンスが変化します。



## エッジ・ショット

トップ・シンバルのエッジ（端）をスティックのショルダー部で叩く奏法です。図のエッジ・センサーの位置が叩かれたときに、リム側の音色が鳴ります。エッジを真横から叩いても正しく鳴りません。図のように叩いてください。

特定のハイハット音色では、エッジ部の打点に応じて音色のニュアンスが変化します。

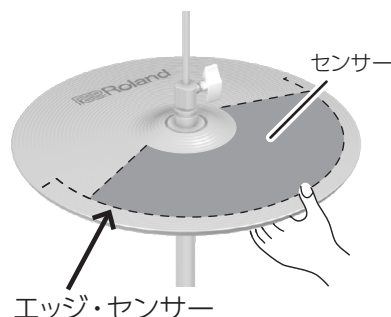


## 注意

トップ・シンバルの裏側やボトム・シンバルは叩かないでください。

## チョーク奏法

ハイハットを叩いたあと、エッジ・センサーを手でチョークする（つかむ）と、音が止まります。また、センサーの感知する範囲に手を置いて、音が止まります（ミュート）。チョークやミュート状態で叩くと、音が短く鳴ります。

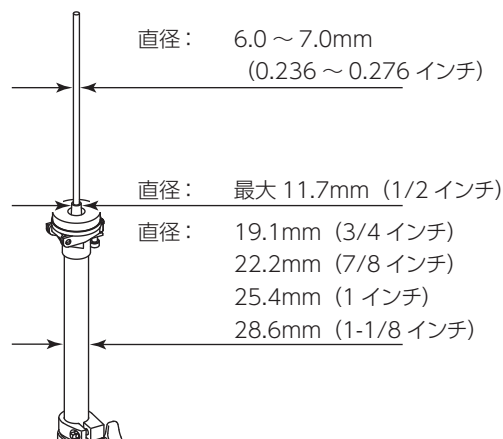


# 主な仕様

|      |                                                                      |
|------|----------------------------------------------------------------------|
| サイズ  | 14 インチ                                                               |
| トリガー | 2（ボウ／エッジ）                                                            |
| 接続端子 | DIGITAL TRIGGER OUT 端子<br>(DIGITAL TRIGGER IN 端子を装備したローランド製ドラム音源に対応) |
| 電源   | DIGITAL TRIGGER IN 端子から供給 (DC5V)                                     |
| 消費電流 | 90mA                                                                 |
| 外形寸法 | 356 (幅) × 356 (奥行) × 160 (高さ)                                        |
| 質量   | 2.2kg                                                                |
| 付属品  | 取扱説明書、接続ケーブル、クランプ、スペーサー（3 種類）、ケーブル・タイ、ドラム・キー、保証書                     |
| 別売品  | ノイズ・イーター：NE シリーズ                                                     |

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

## 取り付け可能なスタンド



ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1